

# 新たな一歩を踏み出す



## 出水高校だより

第二十七号

令和四年三月一日



卒業証書授与のようす

百二十二人の卒業生が、慣れ親しんだ学び舎を巣立ちました。

三月一日(火)に第七十四回卒業式が挙行され、晴れて百二十二人が本校を卒業しました。

国公立大学前期日程(二月二十五日)を受験したばかりの生徒も多い中、厳粛な雰囲気にも包まれた卒業式となりました。式では、卒業生を代表して、切通寧々(きりとおしね)さんが答辞を述べました。

切通さんは、「大変だったはずの朝課外や授業も、



答辞を読む切通さん

みんなと一緒にだったからやりきることができました。別れるのは名残惜しいです

## 学生寮ともお別れ

卒業式前日の二月二十八日(月)には、学生寮の退寮式が行われました。

三年生五人が住み慣れた寮を後にします。

式では、三年生一人ひとりが、後輩や舎監の先生方に向けてあいさつをしました。三年生は「寮生活で多くのことを学んだ。ただ感謝しかない」

が、夢を実現するために新たな一歩を踏み出します。時には苦しいこともあるかもしれませんが。そんなときは出水高校での日々が心の支えになると確信しています」と話しました。

卒業生の皆さんの前途に幸多からんことを、心から祈っています。

などと、寮での生活を振り返っていました。



退寮する3年生へ記念品を贈る